

市民の広場・文京

文京区議会議員 無所属
か い づ あ こ
海津敦子
新人の目で見た!! 区議会報告
Vol.1

2011年 夏号

連絡先
電話 080-4067-8910
住所 文京区小石川3-30-11 3階
アドレス :bunkyokugi@yahoo.co.jp
市民の広場区議控室
電話 03-5803-1319
区政に対する率直な意見を日々、書きつづけています
http://blog.yahoo.co.jp/bukyokugi
「海津敦子ブログ」検索

海津敦子
区政の相談室
学校、子育て、介護、ご近所等々、何でもご相談ください。一人で、家族だけで抱え悩み考えていると、迷路に入ってしまうことがあります。あなたの「今」に間に合うように解決を弁護士と共に考えていきます。

人材育成

改革志向の職員

区長「職員の資質向上」明言

新人議員として初めての議会「平成23年第二回定例会」が7月1日に終了しました。議員の常識ではなく、区民の常識で議員活動をしていくと固く心に誓って臨んだ区議会。まずは初議会の感想を報告します。

区民が実感できてこそ

区長は所信表明で「区長としてリーダーシップを発揮し、改革志向の職員と一丸となつて、全力を注いでまいります」と(改革志向の職員とは、既成概念にとらわれない柔軟な発想や新しい試みに果敢に挑戦する姿勢を持った職員)と宣言しました。例えば、「先進的な施策を立案できる能力」を身につけ区民サービスの向上を



田中議員は「地域に福祉避難所や緊急入所を必要とする人がどれくらいいるのか把握し、その方たちの引き受け可能施設を確保を平時から行っておくべきではないか。また福祉避難所・運営のマニュアルを厚生労働省のガイドラインを参考に作成してはどうか」と質問を行いました。

「地域防災計画」において、特別区長として活用するが、新福祉センターを新たに付け加えることを含め、まずは、要援護者への援助のあり方について地域防災計画の修正の中で検討していく。したがって、**マニュアルを作成する段階ではない**



海津敦子の考え
災害時に「想定外」ということを極力減らすことを行政は求められている今だけに、縦割り行政から脱却して様々な課がつながり「福祉避難所を必要とする人の数」を把握するのは、要援護者への援助の在り方を検討するためにも当然やらなければならないこと。要援護者の対象者の範囲を示し、「一体化」といった仕掛けが必要不可欠で

「想定外」ということを極力減らすことを行政は求められている今だけに、縦割り行政から脱却して様々な課がつながり「福祉避難所を必要とする人の数」を把握するのは、要援護者への援助の在り方を検討するためにも当然やらなければならないこと。要援護者の対象者の範囲を示し、「一体化」といった仕掛けが必要不可欠で

どうする、福祉避難所

訪問看護ステーションや福祉施設、地域包括支援センターなどの協力を得れば在宅で医療ケアを必要としている人なども含めあらゆる方の数字はつかめます。医薬品の備蓄を十分に確保しておくためにも**必要不可欠な調査**です。また、福祉避難所に避難する方々が地域から取りこぼされることのないよう、日常から要援護者と地域とがつながっていることが大切です、そのためには「住民の地域活動施設と福祉施設の連携」を必要不可欠で



海津敦子の考え
放射性セシウムに汚染



本会議は「議場」で行われます

お、食材の納品を受ける際には、産地の確認を行い、記録を義務付けるとともに、調理作業を行う前には入念な洗浄を行うことで安全な給食の提供を行っていく。

放射能対応、給食は?

された肉牛が市場に出回ったことが報道されるとすぐに、保護者から「こうしたことを心配していた」と給食の食材を心配する声が寄せられました。そうした保護者の不安に「考えすぎだ」「冷静に」となげめ、「大丈夫だから」と伝えようとする説得力もありません。保護者は正確な情報の下、自分で判断したいと考えています。区は「出回ることはない」を前提にすることから脱却し、「出回ることもある」という想定の下で、出回ったとき、給食の食材に利用したかどうかの調査の在り方、結果の報告の仕方、食材として方が一利用することがあったときの対応等々、教育委員会だけで考えることなく、**保健衛生部等とも連携**して具体的に伝える丁寧な情報提供が必要で、まさに柔軟な発想で様々なことを想定した危機管理ができる改革志向の職員が望まれます。

海津敦子
区政の相談室
学校、子育て、介護、ご近所等々、何でもご相談ください。一人で、家族だけで抱え悩み考えていると、迷路に入ってしまうことがあります。あなたの「今」に間に合うように解決を弁護士と共に考えていきます。

東日本大震災による都の液状化は「江戸川から大田区にかけての7区で被害」がありました。その被害の中には、都が作成している「液状化予想図」で「液状化の発生が少ない地域」として黄色で色分けした地域も含まれていました。そのため、都は24年度末をめどにして液状化予想図の修正を予定と発表しています。ちなみに、文京区内にも液状化予想図で黄色地域に指定されるところが点在します。

「区内の液状化とまちづくり」
「区民の液状化とまちづくり」
「区民の液状化とまちづくり」
「区民の液状化とまちづくり」

液状化でも再開発 GO か

「区民の液状化とまちづくり」
「区民の液状化とまちづくり」
「区民の液状化とまちづくり」
「区民の液状化とまちづくり」

市民の広場・文京

- 区民の暮らしを支える施策、予算がどのように決まっていかが皆さんに「見えるよう」情報を公開する
- 区民不在で物事が決まっていがないようにしっかりとチェック
- 区民の願いと区政のズレがなぜ起こるかしっかりと分析し、問題解決を図る仕組みや施策を作る



同じ志を持つ、浅田保雄議員、田中和子議員、藤原美佐子議員、前田くにひろ議員そして、海津敦子の5人が集まり作った会派です。力を合わせ**区民の一人一人が幸せを感じられるよう**努めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

文教委員会から

6/24・27

放射能測定

区は学校等の放射能を測定し値を迅速に情報発信しないことが長く続き、保護者達からは相当に不安な声が寄せられていました。そうした中、ある学校は独自に家庭やプールの放射能を測定し「基準値内であった」ことを学校HPに掲載し保護者から喜ばれていました。ところが教育指導課は学校に「区長が放射能を測らないと決めたのに測ってHPに掲載するのは区民を混乱させる」という理由で、HPから放射能情報を削除させました。区民目線で考えればそうした指導こそが区への不信感を募らせ混乱のもとになると思います。特色のある学校づくりを掲げる区でありながらも、公立学校の足並みをそろえさせ「横並びを大事にする」姿勢はなかなか変わりません。

「放課後全児童向け事業」の実施

林町小で新たにスタートしました。しかし、全児童向けとの事業でありながらも、特別支援学級に在籍する子供は保護者の同伴が参加条件となっていました。障害の有無で格差をつけるというのは「すべての子育て支援」を掲げる文京区としては配慮に欠けるスタートです。区として信頼を失わないためには、「有言実行」が大事です。

（仮称）千石地域拠点施設の基本設計

中には育成室が二つできる予定です。それぞれが定員いっぱいになれば88人の子ども達がひしめき合うことになり、事故の心配が保護者からあがっています。実は、事前に保護者から十分な聴きとりをしないまま設計がされています。

「学校選択制度」に関するアンケート調査集計結果

公立中学1年生徒、その保護者に学校選択制の下で「学校を選んだ理由」などを毎年調査しています。結果は各中学校の運営に活かされています。調査対象から除外して「何のために実施するアンケートかわかりません。また、調査対象から除く明確な理由も根拠もありません。特別支援学級の生徒、その保護者をアンケート調査から除外していません。文京区教育委員会の「権威感のなさ」がうかがえます。

文京区男女平等参画推進計画

計画の中には「委員会、審議会等の男女平等参画の推進」という項目があり「男女いずれが一方の性が委員総数の4割未満にならないことを目標」としています。ですが22

課題山積

4月で女性委員は30.3%。まだまだ努力が求められる数字です。しかし、区が本気で目標を達成しようとしているとは到底考えられません。なぜなら、教育委員会では4年前まで目標を達成していません。ですがこの4年は未達成です。この6月の教育委員の改選で目標を達成するチャンスがあったにも関わらず、結局、改善されませんでした。理由は「女性委員が見つからなかった」とのことです。また「文京区地域防災計画の修正に伴う検討委員会」でも女性目線での見直しの必要性などが指摘されています。しかも、区長が大変力を注ぐ「新たな公共の担い手専門家会議」に至っては、何となく「女性委員の参加はゼロ。ゼロという数字から透けて見えるのは、目標を誠実に実践する」という「やる気」の欠如です。結果として区民を愚弄しているように見えます。改革志向の職員は勇気を奮い起こし、目標がお飾りとなっている現状を打破していくことが大切です。私も発言していきます。

■文京区特別支援教育推進モデル校の検証報告
3年間、税金を投入して行ったモデル校の検証でありながら、会議の議事録はなく、どのように検証したのか「不透明」でした。なおかつ内容、そのものも不正確な物でした。例えば特別支援教育を区内に広める上で大事にすべき点がモデル校事業で具体的に明らかになっていないにも関わらず、検証報告では書かれていません。現行の制度上に限界はないのに「制度上に限界がある」という間違っただけの「明記」が「特別支援教育に対して教育委員会の理解不足が、図らずも露呈する検証報告でした。ちなみに、そうした間違いを訂正し、検証報告を再度作成することを求め

ていますが「一度作成したもので修正できない」という姿勢です。行政の間違いを修正できない体質は、まさきに改革すべきものです。

■平成22年度文京区学習内容定着状況調査
中2と小5に実施され、中2の調査で小学校の学習が定着できていない生徒がいることがわかりましたが、そうした調査結果を小学校へはまったく伝えていませんでした。そのため、どうしたら定着させられるか小中学校で研究はされなままです。もったいない調査をすることが目的になつて終わるのでは税金の無駄遣いになります。また教育委員会が「調査」の意味を理解できていない下で子どもが育つのは不幸です。教育委員会の資質向上が急務です。

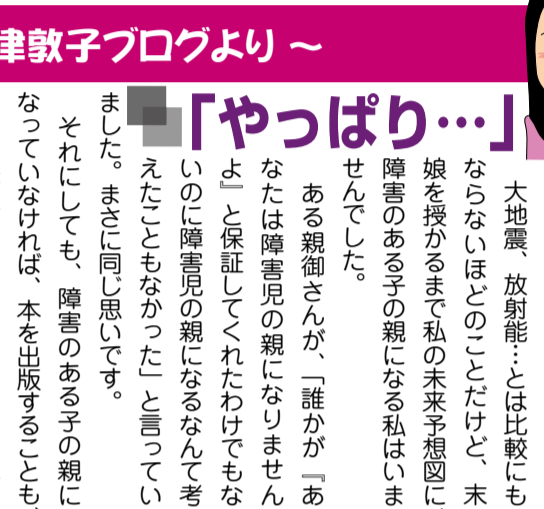
区議会メモ
文京区議会定例会
「定例会」が年に4回あり、2月、6月、9月、11月に開かれます。定例会の間には臨時会が開かれます。次回9月9日～

区民目線で評価

自治制度・行財政システム調査特別委員会(6月21日)

新たな行政評価は、職員等の目線で終わることなく、区民にとってどうであるのか、客観的な視点で評価していく必要があります。が、これまでの事業評価そのものは、「研修を行った」といったことだけで高く評価し、研修をどう生かしているかという点については「研修を行った」というレベルです。それだけに職員意識改革が評価を行う上での必須条件です。

文京委員会委員会室。どなたでも傍聴できます。



「やっぱり…」

やっぱり…人生は思いもよらないことがいっぱいあります。大地震、放射能…とは比較にならないほどのことだけ、未婚を授かるまで私の未来予想図に、障害のある子の親になる私はいませんでした。ある親御さんが、「誰かが『あなたは障害児の親になりますよ』と保証してくれたわけでもないのに障害児の親になるなんて考えたこともなかった」と言っていました。まさに同じ思いです。それにしても、障害のある子の親になつていなければ、本を出版することも、大学で講義をすることも、まして議員として、こうしてブログを書くこともなかったでしょう。

思いもよらずにやってきた障害のある末娘は、思いもよらない人と出会わせてくれ、人となつた幸せを教えてください。思いもよらなかった議員という人生を歩みだすきっかけにもなりました。皆さんは、思いもよらないことがありますか？

さてさて、議員になって思いもかけずというよりは、「やっぱり」ということがいくつもあります。そのひとつには、これまで区民として尋ねていくと「またきたのか？」というオーラを発散し、時には怒鳴って対応してきた管理職が、議員になったとたんにかウンターにいる私のところへくるにあたり、脱いでいたジャケットをわざわざ着て、にこやかに説明をしてくれたことがあります！

同じ人物とは思えないほどで、「恥ずかしいかな」なんて心配してしまつた。でも、やっぱり「そういう人なんだよね」と妙に納得できてしまつた。ちなみに、区民で質問や要望を伝えるときに、丁寧な誠意に対応してくれる区民にも議員にも対応を要しない職員もいっぱいいます。相手によって対応を変えない。大切なことですよ。

少子高齢社会対策調査特別委員会(6月22日)

子育て施策や高齢者施策を、区民の「今」に間に合うように区が適切に実践していくためには、「児童虐待」「高齢者虐待」を調査することで、子育てや高齢者介護の支援や施策、地域連携の課題が具体的に浮き彫りになり、具体的な改善につなげていけると思います。

区議会雑感

「席順でわかる…」

議場の席は、議長の席から見て左側は、区長の示す予算案に最初から賛成を決めていると言われる与党？自民、区民クラブ、公明の議員が固まって座っています。

右側から無条件には予算に賛成しない？とみられる野党？が座る席順になっているようです。一説によると、与党？野党？で別にしてそれぞれ一塊にしておく、採決等の折に「賛成反対」がきれいに分かれて、議長が見やすいからとか…？

与党、野党が存在しないと区長は常々言っているのに…。ちなみに各委員会の席は「どこに座ってもいい」との説明を受けました。はい、か？「どこにでも」というわけにはいかず、区議会事務局の人から席を指定されます。

委員長の席に一番近い席は自民党の議員。その隣からは区民クラブ、公明と続き、公明党の次が野党？です。つまり、与党？と見られる人たちの塊がこちらで作られています。どうしてそうした席順になるのか？？？区民感覚からはまったくわかりません。

しかし、ある委員会のとき、その順番が、自民、区民クラブまではいつも通りだったのですが、市民の広場、公明…といつもとは違う席の指定が事務局からありました。すると、与党といわれる議員から「おかしな席順だ」という発言が…。いや、席はどこの席でも誰がどの順番で座ってもいいはずでは？